

漢方薬で癒す こころとカラダ

12

花粉症に効く漢方薬は 小青竜湯だけではありません

格別に厳しかった冬もようやく終わりましたが、暖かい春風とともに厄介者の花粉がやつてきます。花粉症の治療としては、抗アレルギー剤、ステロイド剤などが広く使われますが、副作用を嫌つて漢方薬の治療を希望される方も多くいらっしゃいます。

しかし、漢方薬でも副作用はあるので、症状や体质によつて、複数の処方を使い分けなければいけません。小青竜湯を筆頭に、



小青竜湯

しょうせいりゅうとう

【効能又は効果】

- 下記疾患における水様の痰、水様鼻汁、鼻閉、くしゃみ、喘鳴、咳嗽、流涙
気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、感冒
- 気管支炎

※必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr.イケノの 思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀
価格：3,278円（税込）
B6判・180頁
発行：新興医学出版社



当院1階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中！

麻黄湯、麻黄附子細辛湯、越婢加朮湯、桂枝加朮附湯、苓甘姜味辛夏仁湯などが代表的な花粉症の処方です。広く使われる小青竜湯でも、高血圧や心臓疾患、前立腺肥大の患者さんには副作用の可能性を考慮し使用を控えます。市販薬を自己判断で試すのではなく、病院での正確な診察や診断の上で、自分に合った処方をみつけることが大切です。

（小児科部長 池野一秀）